

議会だより

伊那市議会事務局
TEL 0265-7681149
FAX 0265-7691117
E-mail gk@inacity.jp

Vol.25

議会運営委員会の行政視察

市民に開かれた議会を目指して、正副議長と議会運営委員で11月10日から12日まで、奈良市、伊賀市、綾部市の議会の視察を実施しました。伊那市議会では、平成24年に議会基本条例、25年に倫理条例を制定しましたが、改革は道半ばであり、今回は「議会報告会」「出前講座」「通信機器の使用」などの目的や効果について、先進地の議会に学びました。3市においてはそれぞれ「市民のための議会」でありたいと、懸命に研鑽に努めている様子が伝わり、全員が大きな収穫を得ました。

奈良市議会（奈良県）

奈良市議会では議会制度検討特別委員会を設置して議会改革を進めています。

議会におけるパソコン、スマホなど通信機器の持ち込みと使用が一定の条件のもとで認められており、その目的や効果についてお聞きしました。活用している議員は、39人の議員中5人のみであり、効果については疑問とのことでした。

また、議会基本条例に基づき、今年5月に初めて市民を対象にした議会報告会が開催されましたので、開催に至るまでの経緯や開催方法を研修してきました。議員全員の出席のもと、年1回1か所での開催です。市民81人の出席があったようですが、反省点も多いとのことでした。

伊那市議会でも市民と議会との意見交換会を開催すべく、そのあり方や方法について検討を重ね

ねていますので大変参考になりました。



タブレット端末を持つ職員

伊賀市議会（三重県）

全国でも議会の改革がトップクラスの伊賀市議会を視察しました。議会報告会の実施、政策討論会の開催、出前講座の開催、議案に対する議員の表決態度の公表などを行っており、市政への民意の反映や、市民の議会・市政への参画の場の確保について、積極的に活動しています。

とりわけ議会報告会は、市民との意見交換や情報共有、議会の説明責任の場として、小学校区単位の住民自治協議会に議員自らが出かけて実施します。

24人の議員が4人ずつの班を組み、市民の求める時期に各地の会場に出かけ、市政や議会の説明をするとともに、市民と意見交換します。出された意見・要望は、直ちに答えられる案件につい



伊賀市議会の視察

てはすぐに返答しますが、市当局への案件は担当者につきまぎます。また、議会全体で取り組むべき案件は、議会で政策討論会を開き、意見集約して発議などを行います。

また、委員会活動として、市内各種団体の要請に応じる出前講座を恒常的に実施しています。市民からは地元以外の議員と間近で話ができてよいと好評です。

綾部市議会（京都府）

綾部市は、かつて養蚕・織物で栄えた人口3万5000人の市で、日曜議会など議会改革の先駆的存在です。

手始めに議員定数の削減、費用弁償の廃止、議会基本条例の制定を行い、議会改革特別委員会を設置し、議会改革検討項目

66件について市民アンケートや地域懇談会を実施し、改革を進めています。日曜日に開催する議会（年1回）と市内各所で開く議会報告会もその一つで、市民の関心も高まっています。

綾部市議会の改革は実に総合的で、市民目線に立った配慮があります。背景として、戦後2回財政再建団体に陥り、現在は多くの限界集落を抱える中で、議会として自ら体質を改善し、市民参加と政策力の向上を目指そうという危機感があります。

議会だよりの発行、ホームページの開設、全会議の原則公開、インターネット録画配信、コミュニケーションFMの活用など、複合的に情報公開に努め市民参加を促しています。



綾部市議会の議長(中央)を囲んで